カルデラで育つ高山植物

岩手山のカルデラの草地に生育する高山植物には、白い花びらに真ん中が黄色のヒナザクラ、青みがかった紫色のリンドウの房、そして鮮やかな黄色のトウゲブキの花などがあります。湿度が高い地域では、緑の絨毯に明るいピンク、黄、紫、白の花々が映えます。雪が春まで降り続き、土壌が湿っている地域では、あちらこちらの雪が溶けた部分からイワイチョウが芽吹いて花を咲かせます。湿り気のある酸性の土壌で生育し、白い花を咲かせる低木、エゾイソツツジは温泉の近くでみられます。一方、ランの一種であるトキソウのピンク色をした繊細な花は、日当たりの良い場所でみられます。ソクシンラン属の一種でたくさんの小さなサナギのような穂をつけるネバリノギランを探してみましょう。日本の固有種であるネバリノギランは、八幡平地域で一般的にみられます。